令和７年度看護支部後援会報告

支部長　松本　容子

令和７年７月６日、第一薬科大学看護支部後援会をクリオコート博多にて開催いたしました。本年度は、保護者 14 名、学生８名の合計 22 名に参加いただきました。

丸山智子准教授による、昨年度の就職実績と就職活動の流れ、今年度のカリキュラム説明について講演がありました。保護者、学生共に就職活動が早期化していることから、いつからどのような活動をしたらいいのか、また卒業生はどのような病院へ就職したのかなど、講演を真剣に講聴されていました。

次に先生も各グループに参加していただき保護者、学生に分かれ、「日頃のちょっとした疑問、些細な事などを話しましょう」と言うテーマで交流会を行いました。保護者からは、３年生に進級し、助産師、保健師コースを専攻した場合のカリキュラムや日頃の学習方法、国試対策についてなど学習面に対する意見が多くありました。学生からは、今回の参加者は１年が多く参加していたこともあり、８月に予定している初めての実習に対し、直接先輩からアドバイスを受け、実習に対する意欲を高める事ができていました。他にも実際の就職活動方法を直接聞くなど、あっという間に時間が過ぎていきました。

懇親会では、広域支部の方と合同で開催いたしました。薬学部・看護学部の垣根なくお互いの情報交換するとても良い機会となりました。

看護支部では、保護者、学生の意見などを下妻調整役から、大学と連携していただき、学生がより良い学生生活を送れるよう取り組んでいます。今回ご参加いただいた皆様には心より感謝申し上げます。今後の活動にも引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。